

○令和7年5月26日 文教厚生委員会の第1回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

文教厚生委員会では、今年度のテーマを「少子化対策の推進について」及び「特別支援教育の充実について」と定めており、今回、4カ所の現地視察を行いました。

まず、香川県立香川中部支援学校（高松市田村町）において、施設の概要や教育方針、ICT機器を活用した職業教育や教室不足解消のための施設整備の取組等について説明を受け、校内を見学した後、質疑を行いました。



次に、香川県立高松支援学校（高松市田村町）において、施設の概要や教育目標、取組の概要について説明を受け、学校看護師による医療的ケアの現場や、自立活動をより専門的に行うための自立活動室等を見学した後、質疑を行いました。



次に、香川県医療的ケア児等支援センター「ソダテル」（高松市松島町）において、施設の概要や相談支援の状況、医療的ケア児等を地域で支える支援者の養成・人材育成の取組等について説明を受け、質疑を行った後、施設内を見学しました。



最後に、一般社団法人 hito.toco（高松市瓦町）において、施設の概要や法人設立の経緯、ひきこもり・参加支援事業等の取組について説明を受けた後、就労移行支援の現場等を見学しながら質疑を行いました。

